

## 富津市公民館運営審議会会議録

1 会議の名称	令和5年度第3回富津市公民館運営審議会
2 開催日時	令和5年12月19日(火) 午前10時00分～午前10時45分
3 開催場所	富津市中央公民館
4 審議等事項	<p>○報告</p> <p>(1) 富津市民文化祭2023の開催結果について</p> <p>(2) 教室講座に関するアンケートの集計結果について</p> <p>○議題</p> <p>(1) 令和6年度公民館主催教室講座(案)について</p>
5 出席者名	<p>○委員(12名)</p> <p>川名 泰、黒川 雅人、長嶋 恵、渡邊 直樹、大河原 紀子、藤井 和子、寺内 一朗、牟田 東枝、山中 正八、齋藤 公宏、大野 泰代、石井 光一</p> <p>○事務局(7名)</p> <p>長谷川公民館長、岩田中央公民館係長、茂木富津公民館係長、堀越市民会館係長、平野社会教育主事、伊藤社会教育指導員、竹谷社会教育指導員</p>
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人(定員 5人)
9 所管課	教育部公民館中央公民館 電話 0439-65-2251
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

富津市公民館運営審議会会議録

発言者	発言内容
<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます、中央公民館係長の岩田です。よろしく願いいたします。</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条第1項の規定により公開となります。そのため、後ほど会議録署名人2名を決めていただきたいと思います。</p> <p>また、会議録作成のため、録音をさせていただきますので、ご了承ください。</p> <p>本日の出欠状況につきましては、出席委員12名、欠席委員3名でございます。</p> <p>過半数以上の出席になりますので、「富津市公民館及び市民会館の設置及び管理等に関する条例施行規則」第31条の規定により、会議は成立いたします。</p> <p>それでは、ただ今より、令和5年度第3回富津市公民館運営審議会を開会いたします。</p> <p>それでは次第にしたがいまして、「2. 委員長あいさつ」ということで、川名委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>川名委員長</p>	<p>(委員長あいさつ)</p>
<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより議案に入りますが、本日の報告事項(2)「教室講座に関するアンケートの集計結果につ</p>

<p>各委員</p>	<p>いて」は、議題（１）「令和６年度公民館主催教室講座（案）について」に関連しておりますので、報告事項を先に行わせていただきますので、ご了承ください。</p> <p>また、本日は会議終了後に浦安市郷土博物館の視察を予定しておりますので、会議終了後１０分の休憩を取りまして、生涯学習バスで向かいます。視察の時間などにつきましては、皆様にお配りしている「視察行程表」をご確認ください。</p> <p>それでは、説明は以上となりますので、川名委員長を議長として議事進行をお願いいたします。</p>
<p>（議長） 川名委員長</p>	<p>それでは議案に入る前に会議録署名人２名の選出ですが、慣例により委員長から指名することよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>（議長） 川名委員長</p>	<p>それでは、会議録署名人は、山中 正八委員と藤井 和子委員にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは報告事項に入りますが、報告（１）「富津市民文化祭２０２３の開催結果について」及び報告（２）「教室講座に関するアンケートの集計結果について」続けて事務局より説明をお願いします。</p>
<p>（事務局）平野 社会教育主事</p>	<p>報告（１）「富津市民文化祭２０２３の開催結果について」報告いたします。</p> <p>今年度の参観者数は４会場合計で９，１４０人となり、前年と比較して１４人の増加となりました。新型コロナウイルス感染症の取り扱いが５類となったのにも関わらず、あまり増えていないのは、多くの人の来場が</p>

見込まれる10月29日の子どもまつりが雨に見舞われたことも要因かと思えます。

今まで参観者数を文化祭の指標としておりましたが、参観者数は天候やほかの行事との重複など外的要因によって左右されることがあります。今後は主体的に市民文化祭に携わった方を増やしていきたいため、参観者数に加え、出演・出展者数及び作品・演目数を主な指標としてカウントしていきます。

続いて、文化祭期間中各会場においてアンケートを実施しましたので、概要をご説明いたします。

まず回答者の性別は女性が64.9%、年代は70歳台が34.1%、居住地は富津地区が34.1%、文化祭を知ったきっかけは知人・友人からが28.9%とそれぞれ最多となりました。

市民文化祭の満足度は、未回答を含む「わからない」を除けば、全ての設問で「満足」が最多を占め、参観者からの評価は概ねよかったです。

その他意見としては、「文化祭の意義」「出展出演者の人当たりの良さ」「役員の皆さんへのねぎらい」「子ども連れで楽しめた」などの意見をいただきました。

これ以外の意見も各部門の担当者は把握しているため、良いところは伸ばすまたは維持し、改善すべきところは対応を検討してまいります。

以上で、報告(1)「富津市民文化祭2023の開催結果について」の説明を終わります。

続いて、報告(2)「教室・講座に関するアンケートについて」報告いたします。まず、アンケートの実施概要について説明いたします。

このアンケートは、「公民館・市民会館の・主催講座・教室がマンネリ化しているといった意見への対応」及び

	<p>「年々目まぐるしく推移する社会状況の変化」などの要因を鑑み、市民の皆さんの学習ニーズを改めて把握し、今後の主催教室・講座に活かしていくため、昨年度に引き続き実施いたしました。</p> <p>実施方法としましては、昨年度と同様に各館の窓口配置・サークル連絡棚への投函・主催教室での配付などすでに施設を利用している方に加え、今年度は富津市安全安心メールや富津市LINE公式アカウントでもアンケートのお願いを配信し、公民館に来ていない方へのアプローチも行いました。</p> <p>このアンケートを参考に公民館で協議をし、のちほどの議題（１）「令和6年度公民館主催教室講座（案）」に反映させているとともに、長期的な教室のテーマとして参考にしていきたいと考えております。</p> <p>これにて、報告2「教室・講座に関するアンケートについて」の説明を終了いたします。</p>
<p>（議長） 川名委員長</p>	<p>ありがとうございました。報告（１）についての説明がありました。量が多いですので、資料を見ていただくから、質問などがありましたらお願いいたします。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>報告（２）について、アンケート結果の自由記述欄は抜粋ということでしょうか。</p>
<p>（事務局）平野 社会教育主事</p>	<p>はい抜粋となっております。その他にも意見はあり、事務局職員で共有しております。</p>
<p>（議長） 川名委員長</p>	<p>ようやくコロナ禍が終わって、踏み出したところですので、事業の反省は重要かなと思います。</p> <p>それでは、他に質問は無いようですので、質疑を終了</p>

<p>(事務局) 平野 社会教育主事</p>	<p>します。</p> <p>続きまして、議題（１）「令和６年度公民館主催教室講座（案）について」、事務局より説明をお願いします。</p> <p>議題（１）「令和６年度公民館主催教室講座（案）について」説明いたします。</p> <p>先ほどのアンケート報告及び昨今の世相を踏まえ、「令和６年度公民館市民会館主催教室・講座（案）」を作成しました。</p> <p>まず、左側の中央公民館につきましては、１番から１０番が今年度からの継続、１１番から１５番が新規、その下の１講座が今年度をもって終了予定となっております。</p> <p>次に、真ん中の富津公民館につきましては、１番から９番が今年度からの継続、１０番から１３番が新規、その下の６講座が今年度をもって終了予定となっております。</p> <p>続いて、右側の市民会館につきましては、１番から８番が今年度からの継続、９番から１２番が新規、その下の４講座が今年度をもって終了予定となっております。</p> <p>継続と終了の判断基準につきましては、実施年数や受講希望の人数や講師の都合などから判断しております。</p> <p>また、教室・講座に親しみをもてるように、また参加したいと思ってもらえるように名称にアレンジを加えております。</p> <p>各館の変更点などを各館担当者より説明申し上げます。</p> <p>中央公民館の１番から１０番については名称以外特に変更はありません。</p> <p>１１番の「キルト d e S D G s」については、従来</p>
----------------------------	--

のキルト教室を踏襲したのですが、材料に資源の再利用という点にスポットを当て、題名にSDGsを掲げ新規扱いとしております。

12番の「わくわくクッキング教室」については、今年度新規で行った「ジビエ料理教室」を「ジビエ」に関わらず様々な食材を使用して実施し、回数も増やすことを予定しております。取り扱う食材が変わるので、参加者層も変わることが見込まれるため新規扱いとしています。

13番の「冬の子どもチャレンジ教室」ですが、従来は夏休みに1回子どもチャレンジ教室を実施していましたが、アンケートで子ども向けの事業をやってほしいとの声がありましたので、増設ということで新規扱いとします。内容は夏季とは全く別のものを予定しております。

14番の「NISAって何だろう？講座」は、2024年から始まる新NISA制度を理解したうえで、活用するのかわたしは知ったうえで使わないかの自己判断ができるような知識を得る場とします。また、「中立・公正」な日本証券業協会を講師に招くことで、「特定の企業の利益にならない」という公民館事業の原則に反しないで実施します。

15番の「フォトテク上達セミナー」ですが、令和5年度の当初予定にありませんでしたが、年度途中新規で開設したものです。年度当初のリストとしては、初めて載ったものなので新規としております。

また、公民館・市民会館の利用者層拡大をねらいとして、イオンモール富津さんを単発でお借りし、そこで当日参加可能な教室を実施し、その場で公民館・市民会館の主催事業やサークルのPRを行い、新たな利用者の獲

<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>得につなげるため、年1・2回程度「出張公民館」というような名称で実施したいと考えております。</p> <p>それでは、引き続き、富津公民館の変更点などをご説明いたします。</p> <p>先程も説明がありましたが、1番から9番は今年度からの継続となり、原則、変更はございませんので、ここでは新規となる10番以降についてご説明いたします。</p> <p>まず、10番の「抹茶・茶道教室」は、家族や友人を招いて、自宅で手軽に抹茶を楽しむ方法から初心者・初級者向けとなる茶道の簡単な作法までを楽しく学ぶ講座として、特に抹茶や茶道に興味はあったけれど機会がなかなか無かったというような人を対象に企画しています。</p> <p>次に、11番の「俳句入門講座」については、趣味として初心者でも気軽に楽しめる俳句の魅力について、季節とともに学ぶ講座となっています。本講座は俳句歴70年に至る講師の「自身を育ててくれた俳句への感謝のかたち」として、「俳句の裾野を広げたい」という想いから、企画に至ったものとなります。</p> <p>次に、12番の「睡眠と健康の知恵袋講座」ですが、こちらは明治安田生命保険相互会社のMY定期講座のうちの1講座となり、今年度は「わたしと家族の「そぞく」講座」を開講しています。講座のかたわら、野菜の摂取状況・自立神経ストレスチェックなども行われ、好評であったことから、次年度は「より良い睡眠をとるための知識・方法から、夜中に目が覚めてしまう、なかなか寝付けないなどのお悩み別の解決方法を睡眠環境から考え、学ぶ」講座として企画したものです。</p> <p>最後に、13番「ライフ&amp;マネープラン基礎講座」は、</p>
-----------------------------	---



<p>(事務局) 堀越 市民会館係長</p>	<p>「より良い暮らしのためには適切な資産形成が重要ですが、知識・判断力・金融リテラシーが求められます。それらを培うための、資産運用・金融商品・NISAなどの資産形成支援制度の基礎を学ぶ」講座となっています。こちらは、主たる対象が中間年齢層の講座が無かったことや、時間に余裕が出来た際に「そういえば公民館で講座をやったな」と自発的に公民館活動への参加に繋がること、また、友人などに波及していく効果も期待して企画したものとなります。</p> <p>以上、13講座、全81回での企画となります。これにて、富津公民館の説明を終わります。</p> <p>市民会館の教室・講座について説明いたします。</p> <p>1番から8番までは前年度からの継続になりますので、説明は省略させていただきます。</p> <p>まず、9番の「大人の防災社会科学習会」ですが、災害時の身の守り方や避難方法、災害時に備える体制整備の必要性や具体的な支援の内容について、講義・体験学習・施設見学を通して、知見を深めていくことを目標とした講座となっております。</p> <p>次に、10番の「親子で行く社会科探検！」は、保護者が同伴できる小学校3年生から6年生までを対象に、東京湾アクアライン裏側の緊急避難通路を施設職員とともに徒歩で探検しながら、巨大インフラ施設の構造や設備などについて学ぶことができる講座となっております。</p> <p>最後に、11番・12番の「こどもダンス教室(初級)・(中級)」ですが、リズム感を養い、音楽にあわせて楽しく体を動かしながら、ヒップホップダンスを学ぶ教室</p>
----------------------------	--

<p>(議長) 川名委員長</p> <p>大野委員</p> <p>(事務局) 堀越 市民会館係長</p> <p>大野委員</p> <p>(事務局) 堀越 市民会館係長</p> <p>大野委員</p> <p>(事務局) 長谷川館長</p>	<p>です。初級は初めての子ども達を対象で、中級は経験のある子ども達を対象としています。</p> <p>以上で議題(1)「令和6年度公民館主催教室講座(案)について」の説明を終了いたします。</p> <p>大変丁寧な説明ありがとうございました。</p> <p>それでは、資料をご覧になっていただき、ご質問のある方はお願いいたします。</p> <p>市民会館の9番の「大人の防災社会科学習会」の講師が「講座ごと」になっていますが、どういう方に依頼するのですか。</p> <p>第1回は市役所防災安全課の出前講座を利用して防災訓練を行う予定となっております。2・3回目の館外学習は公民館の職員で対応する予定となっております。</p> <p>市の職員が講師となるということですか。</p> <p>その通りです。</p> <p>教室・講座に同じ人が継続して何年ぐらい続けているかはわかりますか。同じ人が長年受講していて、新規の方が入らないというケースがあるのかということですか。</p> <p>公民館側としては、主催教室講座が概ね5年経ったところで、スキルを身につけた方が中心となって、サークル化できれば理想であると考えています。</p> <p>しかしながら、学習内容の性質によって、サークル化</p>
--	---

<p>齋藤委員</p>	<p>ができるものとできないものがあると考えています。</p> <p>同じ方が同じ教室・講座を受講しているかは把握できています。参加申込者が多い場合、学習機会の入口をなるべく広げようということで、新規申込者を優先する対応をとっています。</p> <p>今のお話ですが、ちょうど私が体験したまさにその通りでして、市民会館の歴史に関する講座に参加していました。当初は30名の定員で人気講座であり、連続して3・4年と参加していると、新しい人が入れないという話が出てきて、せっかく学習したいのに継続を断念しなきゃいけないということがありました。</p> <p>それならば、新しいサークルを作って、講座と同じ先生に指導をお願いしました。サークルは講座と比べると制約が少ないということもあり、逆にサークルの方の人数が多くなったということがありました。</p> <p>こういったことから、一概に継続が悪いということではなく、実情に応じて実施してもらえればと思います。</p>
<p>(事務局) 長谷川館長</p>	<p>主催教室・講座から分離独立してサークル化して自分たちで活動していくこと、これはまさに社会教育活動や公民館活動に参加する方を増やしていくことにつながります。</p> <p>これはすごく嬉しいことであるとともに、そのような形にしていかなければならないと感じております。</p> <p>主催教室・講座の内容が風化しないように何が必要なのか考慮し、そのときの時代に即したもの、利用者のニーズ、アンケート結果を勘案しながら、継続するものしなないものを検討してまいります。</p>

<p>寺内委員</p>	<p>中央公民館の14番「NISAって何だろう？講座」について、このような内容は各証券会社などがいろいろやっているとありますが、証券会社の説明会に行くとその会社を使わないといけないと思ひ、なかなか参加できないところがあります。</p> <p>だから、日本証券業協会のように公共性があるところが実施してくれると行きやすい人は多くいると思ひます。ただ、1回だけの開催となると、開催日時などの理由で行けない人がいると思ひます。調整が必要ですが、もっと回数を増やして、参加できる人の範囲を広げてあげることも必要ではないでしょうか。</p>
<p>(事務局) 長谷川館長</p>	<p>日本証券業協会と協議して、異なる日時で複数回開催できるような検討していきたいと思ひます。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>素晴らしい新規事業を複数入れてもらいましたので、これを正確に市民の皆さんへ広報できるかが課題だと思ひます。</p> <p>それでは質問の方を終了し、議案を終了させていただきます。その他ということで、連絡事項はありますか。</p>
<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>次回会議は、令和6年3月26日(火曜日)午後2時から中央公民館で開催予定です。2月中旬に開催通知を出させていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>(事務局) 平野 社会教育主事</p>	<p>「動画を用いた社会教育事業のPR実施について」説明します。</p> <p>富津埋立記念館のPRを推進するため、平成5年に作成した『富津の海苔養殖 ～昭和三十四年全ての作業は</p>

	<p>手仕事だった〜』を、11月7日に「千葉県富津市YouTubeチャンネル」で公開しました。</p> <p>公開した旨は、富津市ホームページ及びSNSで周知を図り、12月16日現在8,311回再生され、5件のコメントが寄せられております。</p> <p>同様に富津市民文化祭のPR及び来場できなかった方へ様子をお伝えするために、市民文化祭各部門のダイジェスト動画を作成し、11月22日に同じく「千葉県富津市YouTubeチャンネル」で公開しました。</p> <p>公開した旨は、富津市ホームページ及びSNSで周知を図り、12月16日現在237回再生され、1件のコメントが寄せられております。</p> <p>今後も動画を使って公民館事業のPRを進めていきたいということで、報告させていただきます。</p>
<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>(会議終了後に実施する浦安市郷土博物館への視察について説明)</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>視察への出発まで時間がありますので、何かあればお話しください。</p>
<p>寺内委員</p>	<p>主催教室・講座のアンケート回答に、「公民館への移動手段がない」とあるほか、アンケート回答者の約半数が70歳代以上であることを踏まえると、現実として皆さん悩まれているかなと感じています。</p> <p>最近タクシーすら配車がないということで、この点についての対策を聞かせてほしいです。</p>
<p>(事務局) 長谷川館長</p>	<p>市全体としても交通手段の確保は、課題と捉えているところです。ただ、公民館単独の施策はないものの、企</p>

<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>画課の方で公共交通の課題を改善していこうという動きがあります。その中に公民館へのアクセスも盛り込んでもらうかは課題と感じています。</p> <p>今朝、ニュースで若い世代のN I S A活用に関する特集がありました。若い人向けということであれば、土曜日・日曜日の実施が良いとかいろいろ検討することがあります。</p> <p>また、長年同じ講座に来てくださっている方もいるとのことですが、脱却してサークルを作ってやれるかと考えていく必要があります。しかし、サークル化といっても、方法がわからないと思うので、相談に乗ってくれる姿勢も求められると思います。</p>
<p>寺内委員</p>	<p>主催教室・講座の最初は市の方でやって、マンネリ防止ということで数年後にサークル化するという方針だと思いますが、実際に本当にそれでよいのかは疑問です。</p> <p>サークル化せずにそのまま活動が終了してしまうことは施設の稼働率が落ちてしまいます。サークル化せずに主催教室・講座を継続すると稼働率が向上し、施設修繕の予算確保にもつながると思います。したがって、サークル化方針で稼働率が下がるよりは、継続してでも稼働率の向上を目指すという見方もあると思います。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、他には特に無いようですので、進行を事務局へお返しします。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>

<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p> <p>各委員・事務局</p>	<p>ご審議をいただき、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度、第3回富津市公民館 運営審議会を閉会いたします。</p> <p>(会議後、浦安市郷土博物館の視察を実施)</p>
--	---